こんぴら

令和5年12月　第４０号

神輿渡御祭復興と祭礼の課題

長く続いた疫病禍も終息し、例祭神輿渡御祭も四年ぶりに例年通りの姿で執行することが出来ました。本年は輿丁（よちょう）（神輿方）五十名が参加してかつぎ巡行も実施し、終日かけて町内を練り歩きました。

ご祭神の御神霊を神輿にお遷しし、年に一度町内の様子を親しくご巡幸になって、町の平安を神人一体となって祈るのが神輿渡御祭です。祭礼が賑わえば賑わうほどご神威も増す。とされています。

神輿渡御は復活しましたが、町内の山車屋台の巡行は敵いませんでした。特に人員確保の困難が要因で地域の情勢が現れてしまっています。祭礼だけでなく様々な行事や団体の維持も難しくなりつつあって、少子高齢化と疫病禍で傷んでしまった地域の課題は簡単には解決できませんが、再び活気を取り戻すためにも、祭礼の復活は大変大きな意義があります。

祭礼を維持継承していくことは、町や地域を守っていくことでもあります。知恵を出し合って、これまでのやり方を一から見直してでも地域の伝統文化を貴重な財産として守り伝えたいものです。

令和六年 祭行事のご案内

初詣

大晦日より終夜参拝
三ケ日　御神酒　授与
正月縁起物多数
神守札授与所
一　日　午前0時～2時
三ケ日　午前8時～午後6時

※元日午前零時より、峰翔会(こんぴらさん応援団)が「甘酒」の無料接待をご奉仕いたします。

一月十四日(日) 午前七時～
焼納祭(どんど焼)
お正月飾りなどは当日までにお持ち下さい

四月　九・十日(火・水) 春季大祭
七月　九・十日(火・水) 夏季大祭
七月二十九日(月)　水無月祭
十月　十三日(日)　例祭神輿渡御祭

「狛猫朱印」始めました

初穂料　五〇〇円

用紙での授与になります
朱印はお参りの方にだけ授与します
お一人一枚限り

狛猫絵馬 700円

狛猫お守り 700円

こんぴら手づくり市

第3日曜日

【開催日】
12/17 終い市
R6　3/17
4/21
10:00～15:00

1・2月はお休みです

出展者募集中!!
スタッフ大募集!!

konte1.jindo.com

猫の顔絵馬

狛猫さんに
ちなんで
思いの
こもった
オリジナルの
顔を描いて
幸せになる願いを書いて 奉納して下さい。

企画　ねこプロジェクト　　初穂料　700 円

新年祈願 承り中

家内安全　心身健勝
商売繁盛　会社隆昌
男女厄年　開運厄除
合格祈願　学業成就
海上安全　大漁満足

令和6年の厄年(数え年)

平成18年生　19歳　女子厄年
平成12年生　25歳　男女
平成4年生　33歳　女子大厄
昭和63年生　37歳　男女
昭和58年生　42歳　大厄 初老
昭和39年生　61歳　還暦
昭和30年生　70歳　古稀

厳粛で清楚な
結婚式　御祈祷
金刀比羅神社
宮司　脇阪卓爾
〒六二七〇〇三四
京丹後市峰山町泉一一六五一二
電話　〇七七二一六二一〇二二五
FAX　〇七七二一六二一五九九三
mail info@konpirasan.com
http://www.konpirasan.com

手づくりの 丹後ちりめんこまねこ守り 授与

こまねこまつり実行委員会では、本年のこまねこまつり開催に合わせて「丹後ちりめんこまねこ守り」を企画、二二二体のお守りを手づくりで製作し、祭り当日限定で授与されました。

これは京都府織物機械金属振興センターがサスティナブルをテーマにした取り組みの中で、当社境内の落葉紅葉から染料を抽出して生糸を染め、地域の発展に寄与できるような活用ができないか。と協議を重ね、吉村商店の協力を得て狛猫のイラスト柄の丹後ちりめん生地が織り上げられました。

これを実行委員会スタッフが一体一体縫製して手づくりでお守り袋を製作、中の神符は蚕の繭に包んで納めるという特別な神守となりました。

丹後ちりめん こまねこ守り

手作業で縫製作業奮闘中

十月十六日の祈願祭で機織養蚕の守護神木島神社を守る狛猫にちなみ、除災招福と疫病除けの祈願をお修めし、十七日当日は特設授与所に長蛇の列ができる盛況ぶりとなって、用意した二二二体すべてが授与されました。

狛猫に所縁の授与品を増やして欲しいという要望や、常に授与して欲しいという声も多く寄せられていて、今後の継続的な取り組みが期待されています。

大盛況の授与所

手水舎修復工事完了

七月九日夏祭りで事故があり、境内手水舎の柱が折れるなどしていましたが、九月上旬に修理を終えて竣功しました。

手水舎は十二本の柱で屋根を支えるという特別な構造で、屋根をクレーンでつり上げて移動し、すべての柱を取り替えるという工事となりました。

修復工事竣功

屋根つり上げ移動工事

こまねこまつり2023開催

疫病禍の明けた本年は四年ぶりの通常開催となり、「丹後ちりめんこまねこ守り」をはじめ、三年の間に貯め込んだ企画をお披露目するなど大いに盛り上がりを見せました。

九月十六日（土）夕刻、本殿での「こまねこ祭」斎行を皮切りに、狂言師・河田全休さんの**夜灯りこまねこ狂言会**が絵馬舎で開催され、オリジナル創作狂言「猫瞞し」が披露されました。京都産業大学若狭ゼミ生が夜灯りを担当し、手づくり提灯百五十個を山内参道や社殿に飾り幽玄に演出しました。

九月十七日（日）当日、境内では**第一四〇回こんぴら手づくり市**が開催され、池田修造氏の**「猫の目」展**、ねこプロジェクトの**陶器ねこ・ねこ面ペイント**、吉村商店と同時開催の**丹後縮緬つるし飾り展示**、ねこ会議が**ねこねこよろず相談会**、**Koico参加型アートプロジェクト「町を縫う」出張ワークショップ**、小嶋庵の**ちょうちんワークショップ**、峰高茶道部のお**呈茶席**、北近畿鉄道ビジネスの**こまねこ鉄道フェスタ**などで賑わいました。またスマートフォンのアプリで町中を廻りながらゲームを楽しむ**ARスタンプラリー「こまねこを救え！伝説の猫セブン」**を開催しました。

十月十五日（日）の手づくり市には、森山道子さんの紙芝居・谷口理恵さんのマリンバ・田中匡代さんの三味線で**歴史紙芝居**のスペシャルコラボステージを開催、当日は羽衣ステーション「てくてくわがまち再発見」との共催で**「峰山の古今食文化をめぐる」**をテーマに**こまねこウォーク**を開催、総勢五十名が参加し、近在の飲食店を訪ねて食文化と街の歴史に触れ、福知山公立大生が製作した「丹後クラフトコーラ」が振る舞われました。会館では**ウィキペディアにゃウンVOL6**でウォークで取材した記事を編集してウィキペディアに新たな項目が追加されました。

第3回大丹後ネコ派てん

十月十六日から十八日まで白銀の田中家具ギャラリーで開催され、二十余名の手によるネコに因んだユニークなアート作品が会場を満たしました。

こんぴら手づくり市

夜灯りこまねこ狂言会

ねこ面ペイント 作品展示

丹後縮緬つるし飾り

ARアプリ画面

町を縫う 完成作

歴史紙芝居 スペシャルステージ

ちりめん猫パネル展示

大丹後ネコ派てん